

今年度事業について

今年度事業の趣旨及びスケジュール

これまでの取組

医療機関で活用できる、より実践的なモデルや手順書といったツールが必要ではないか

R1年度: アンケート・好事例施設調査

- 100床以上の医療機関に対する実態調査
- 好事例施設の取り組み状況を調査
現状の把握と課題の抽出

R2年度: スタートアップツールの作成

- ポリファーマシー対策を行う実践的なポイント等
- 業務手順書のモックアップ
R1年度の課題を解決するツールを作成

病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方

R3年度: モデル医療機関での実運用調査

- R2年度に作成したツールを医療機関で運用し、実用性と課題を確認
- 実施機関は公募により数機関を採択
- モデル医療機関での取組結果の学会発表などを通じて、ツールの周知も図る

< スケジュール >

	R2年度	R3年度	R4年度
検討会	第13回	第14回 中間報告 最終報告	第15回 結果をとりまとめて報告
医療機関での効果検証		ツールの運用を通じた効果検証・課題確認	

採択医療機関

藤田医科大学病院 (愛知県豊明市)

【ポリファーマシー対策を新たに導入する施設】

国立がん研究センター中央病院 (東京都中央区)

【ポリファーマシー対策を新たに導入する施設】

三豊総合病院 (香川県観音寺市)

【ポリファーマシー対策をすでに実施している施設】

中間報告の進め方

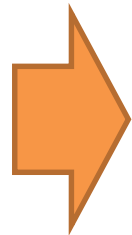
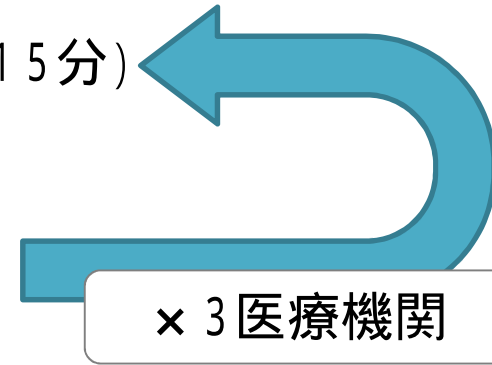
- モデル医療機関から取組状況の中間報告(15分)



質疑応答(10分)



- 3医療機関全体を通じた意見交換(10分)



- 取組みを通して見えた業務手順書等の実用性と課題の確認
- 各モデル機関が取り組むべき内容及び必要な事項等の確認